

令和5年（2023年）度事業計画書  
2023年4月1日～2024年3月31日まで

特定非営利活動法人  
福岡県高齢者グループホーム協議会

【事業の方針～理念と目標～】

1. 活動基盤である「ケア」の基本理念
  - 1) 私たちは、常に認知症のご本人の気持ちや希望に寄り添い、尊厳を支え、安心して暮らしていただけるよう最善を尽くします。
  - 2) 私たちは、家族の気持ちや希望に寄り添い、また親しい人たちや地域とのつながりを重視します。
  - 3) 私たちは、認知症ケアの専門職として、互いに学び、高め合い、パーソンセンタードケアの実践、質の向上に努めます。
  - 4) 私たちは、地域の認知症ケアの拠点としての役割を通して、地域づくりに貢献し、誰もが安心して暮らせる社会を目指します。
  - 5) 私たちは、防災と感染対策の見識と実行力を高め、高齢者を守り、地域全体の安全・安心に努めます。
  
2. 活動目標
  - 1) 利用者本位のケアや支援～パーソンセンタードケアとライフサポート～を実践できるグループホームを育成する【全体研修・ブロック活動】
  - 2) 理念に沿ったケアや支援を提供するための良質かつ健全な運営の推進を図る【運営相談会・行政との情報交流会・実践交流フォーラム等】
  - 3) 現場職員が互いに価値や誇りを感じ、介護にやりがいを持てるようにモチベーションを高める環境や機会をつくる【会員交流・研修・ブロック活動】
  - 4) 地域包括ケアの推進の中で、地域の認知症ケアの拠点としての役割を担えるよう、事業所及び地域を応援し、地域全体で支え合うまちづくりに貢献する【認知症あったかホームコンサート、行政との情報交流会・地域支援アドバイザー研修等】
  - 5) グループホームの実践を通して、地域密着型サービスとしてのグループホームの在り方や役割、また社会資源としてのグループホームの育成という観点から、国や社会への提言を行う  
【全国グループホーム団体連合会との協働等】

- 6) 国や自治体の方針に従って、新型コロナウイルスに対する適切な感染対策を実施できるように、会員への啓発、情報交換を行う。

【感染対策の研修会、HPの活用による情報発信】

### 3. 重点項目

#### 1) 新型コロナウイルス感染対策

- ① 感染対策に関する情報提供・・・厚生労働省や県等からの通知文や情報をHPで配信
- ② 必要な知識や情報の共有・・・研修会の開催

#### 2) 主な活動

- ① ブロック研修及び活動・・・年2回以上
- ② 全体研修会・・・年4回

開催時期	内容	開催方法
2023年5月	「会員交流会」 第1部 総会・情報交換会 第2部 親睦会	参集型
2023年9月	「グループホームで進めるACP」 ～望む暮らしを最後まで～	オンライン

#### ③ 運営相談会・・・年3回、オンラインで開催

管理者や現場のリーダーが、現場の直面する運営課題とグループホームの在り方を結び付け、広い視野で考え、現場に活かす機会をつくる

開催時期	内容	開催方法	担当
2023年6月	経営と運営のVGとNG	全国GH団体連合会と共催	
2023年8月	記録とケアプランのVGとNG	県内小規模多機能事業所連絡会との連携	
2023年10月	職場安全衛生・労務管理のVGとNG	介護労働安定センターとの連携	

※担当理事を決めて、担当理事を中心に計画、実施

※どの会も事前アンケート、事後アンケートをとる

※終了後、HPにアンケート結果と開催結果を掲載する

- ④ 会員応援事業
  - ・職員交流アクティビティの実施
  - ・SNS など IT の活用による多様な情報交流の「場」の提供
- ⑤ 第 17 回地域密着型サービス担当行政との情報交流会・・・2 月に参集型で開催
- ⑥ 第 17 回実践報告・交流フォーラム・・・参集型
- ⑦ 13 回認知症あったかホームコンサート・・・11 月ハイブリットで開催（全国グループホーム団体連合会助成金申請予定）
- ⑧ 地域密着型サービスとしての地域交流・地域支援を推進する事業所及び人材育成点
  - ◇ 第 10 期地域支援アドバイザー研修の実施
  - ◇ R6 年 1 月～3 月、4 回シリーズで実施
- ⑨ 全国グループホーム団体連合会との情報・活動連携
  - ◇ オンラインによる定例ミーティングの開催
  - ◇ 会員県・団体の研修や活動等の情報交換、助成金事業
  - ◇ 実態調査及び政策提言
- ⑩ 活動成果冊子の作成
- ⑪ 会員募集のための活動

3) 県全体の地域包括支援体制構築及び次世代育成や福祉人材確保のための委員会活動及び参加協力、各種講演会などの名義後援

\* 県などからの依頼に応じて検討

委員会等の名称	委員名	備考
福岡県認知症施策推進会議	大谷るみ子	副委員長
福岡県認知症高齢者等 SOS ネットワーク推進連絡会議	大谷るみ子	
福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議	大野哲也	
福岡県介護人材確保・定着促進協議会 同上 環境改善・人材育成部会	平山正明 荻田哲司	
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議	黒木みよ子	
北九州市オレンジ会議	黒木みよ子	

\* 雇用管理改善企画委員会（公益財団法人 介護労働安定センター福岡支部）

\* 福祉人材共働戦略・実践ワーキング（福岡市）

\* ふくおかカイゴつながるプロジェクト ⇒ 委員として参加、連携していく

#### 4. 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従業者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額
①身近なグループホーム間の連携・交流事業	ブロック支部研修・交流活動	年10回	各ブロック支部	18名	会員・利用者・家族 240名	25万 5万×5B
②認知症ケアの質の向上のための研修・人材育成事業	全体研修会 運営相談会 会員応援事業	年4回 年3回 2回	オンライン	20名	会員 120名 60名 40人	95万
④認知症の人や家族が安心して暮らせる社会の実現に向けた地域啓発・交流事業並びに地域の認知症ケアの拠点づくり	地域認知症アドバイザー 認知症あったかホームコンサート	年4回 年1回	オンライン	20名 30名	会員、非会員、行政等150名 会員・非会員・県民・行政・学生等500名	45万 20万
⑤認知症ケアやグループホーム等の発展のための調査・研究、政策提言	全国グループホーム連合会及び日本認知症グループホーム協会等との合同会議	年2回	オンライン	2名	会員・非会員・利用者・家族	
⑥行政や関係団体との協働を促進するための事業	・地域密着型サービスや関係団体との情報交流会の実施	年1回	オンライン	20名	会員・非会員 行政・関係団体 80名	1万
⑦火災・広域災害時における相談、援助事業	防災関係の情報提供 広域災害・火災発生時の支援活動 感染対策に関する活動	年2回 適宜	HP等にて 必要時	20名	会員・非会員・利用者・家族 地域住民	20万
⑧その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	ホームページやSNS等の活用促進	適宜	事務局等	2名 8名	会員・非会員・家族・県民	12万

